

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。なお、ご協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。

研究課題名 (倫理審査委員会承認番号)	マクロライド耐性百日咳菌の耐性遺伝子変異検査研究 (No. 25-06 号)
当院の研究責任者 (所属)	松本日出男 (小児科)
実務分担者	阿部隆 (臨床検査科)、斉藤友樹 (臨床検査科)、工藤結香 (臨床検査科) 平木雅久 (小児科)、黒澤洋一 (小児科) 大塚菜緒 (国立感染症研究所主任研究官)
本研究の目的	2024 年に始まった百日咳の流行では、当地ですでに 50 余名の感染者を出す大きな流行となった。すでに多数の百日咳菌の培養に成功し、ゲノム解析が終了した菌株の全例でマクロライド耐性菌であることが判明しており、すでに当地にも耐性株が広く浸淫している危急事態となった。 一方で、マクロライド耐性かどうかを即時に判断する検査方法はまだ確立されておらず、国内ではすでに乳児を中心として死亡例を含む重症例が相次いで報告される事態となっている。臨床現場でマクロライド耐性かどうかを判断する必要性が高まってきている。 耐性株の検索は通常の医療機関で行う一般的な商用医療検査の範囲では不可能であったが、当院に採用されている百日咳専用の PCR 機器を用いて、百日咳菌のマクロライド耐性遺伝子に変異しているか臨床検査法を確立していくための研究を行う。
研究対象者	当院で 2025 年 9 月から流行期間中に耐性株百日咳菌による百日咳を疑って上記検索を行った者
研究方法	上記として PCR 検査を行った対象者の PCR 試料の残余液を用いてマクロライド耐性遺伝子に変異の有無について遺伝子検査を行う。 検査結果ならびに必要なに応じて検体を国立感染症研究所に依頼し耐性遺伝子を有するかの検査を行い、耐性株百日咳菌による百日咳の診断および流行把握に役立てる。 また、患者の属性や臨床症状ならびに検査結果など必要な情報について電子カルテから抽出して解析を行う (海外雑誌への投稿を予定)。
個人情報の取り扱い	氏名や住所などの患者さま個人を直接特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	電話：(0125) 22-4311、 研究責任者：小児科 松本日出男